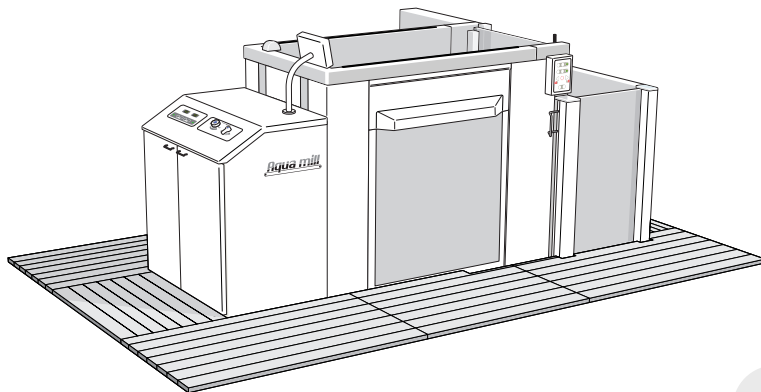
SAKAImed

取扱説明書

Aqua mill

水中トレッドミル　**アクアミル**

HM−200

＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」は
・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・1部を保存用として、大切に保管してください。

04-023④L2

もくじ

用途

本製品は限られたスペースの中で、水の浮力及び抵抗を利用して歩行運動を行うことを目的とした水中トレッドミル装置です。

特長

- **トランスファーが安全・容易。**
運動浴槽への出入りは待機浴槽付方式を採用。各浴槽を引き戸にすることで、開き戸方式に比べ扉が邪魔になることなく、安全・容易に出入りできます。

- **深めの水深設定が可能。**
最大水深 1250 ㎜と深く、浮力を十分利用した運動が行えます。運動浴槽内寸法は、800 ㎜(W)×1520 ㎜(L)、トレッドミル寸法は、500 ㎜(W)×1250 ㎜(L)と歩行運動には十分な広さを確保しています。

- **安全に配慮したトレッドミル**
平ベルト式の採用による低騒音化の実現。歩行方向は切替が可能なので、身体の両側面の観察が容易に行なえます。歩行速度は0～133m/min(0～8.0 ㎞/h)と可変。

- **使用者の看視が容易な浴槽。**
運動浴槽の側面には観察窓(縦 940 ㎜×横 900 ㎜)があり、使用者の歩行状態を足元から上半身まで観察できます。入り口の扉は透明で、使用者の前後方向からも確認でき、十分な評価が行なえます。

- **治療効果が期待できる噴流装置併用。**
噴流を利用した抵抗と、皮膚に適切な刺激を与え、血液循環の促進とリラクゼーションを促します。

- **ろ過・殺菌保温装置の標準装備**
本体操作部に水処理システムが装備されているので、常に清潔な湯が保たれます。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源・入浴剤・給湯水圧

警告

サービスマン以外は、浴槽の電源接続を行わない
正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理
適正範囲を外れると、給湯の湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。(P.9 参照)

注意

浴槽の使用電圧は３相 200V±5%、AC100Ｖ±5%の範囲内で使用する
範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

銀イオン殺菌装置と入浴剤を併用して使用しない
イオウ系の入浴剤等は浴槽の金属部や電気部品、ゴム部品等を腐食させます。ご使用になり装置が故障した場合は、保証期間内の製品でも、保証対象となりませんのでご注意ください。

薬液を使用しない
銀イオンと反応し、浴槽・アクリル扉・配管等に悪影響を及ぼす恐れがあります。銀イオン殺菌装置を使用すれば、薬液を使用しなくても十分な殺菌効果が得られます。

観察窓に、堅いものをぶつけない
ガラス製です。傷がついて破損の原因になります。

浴槽操作及び送湯

警告

運動浴槽からの送湯前に運動浴槽内の湯温が適温であることを温度計と手で必ず確認

高温のままだと、使用者にやけどを負わせる危険性があります。

送湯時、使用者の身体の保持をしっかり行ない、運動浴槽では、両側の手すりを握らせる

待機浴槽では、折りたたみ式椅子に座らせるか、浴槽の縁につかまらせてください。水流や浮力等により、使用者が転倒し水没する危険があります。使用者の状態を常に確認し、表情や身体状況に異変があった場合は、すみやかに操作を中止してください。

扉開閉操作の際は、扉付近に人や物が存在しないことを確認

特に使用者の足先や手先の状態に注意して、挟み込み等の事故が発生しないように操作してください。

注意

扉をスライドする前にシール部に傷や異物の付着がないか必ず確認

シール部の不良による水漏れ、または機械の故障の原因となる恐れがあります。

扉のスライドはゆっくり丁寧に行なう

扉は樹脂製です。物をぶつけたり、乱暴に扱うと割れたり傷が付いたりして、充分な性能を発揮できなくなります。また、機械の故障の原因となる恐れがあります。

扉のスライドは完了ランプの消灯を確認してから行う

扉シール開閉中に行うと、シールの損傷による水漏れ、または機械の故障の原因となる恐れがあります。

扉を無理に開けたり閉じたりするような力（特に扉シールの開閉作動中）を加えない。また、扉に物をぶつけたり、叩いたりしない

破損の原因になります。

完了ランプの確認

①外扉と内扉を同時に操作することはできません。必ず１つの完了ランプが点灯または消灯することを確認してから次の操作を行ってください。

②扉が完全に閉められていないと完了ランプが点灯せず、運動浴槽から待機浴槽への送湯が行なわれません。

外扉シール開放操作は、待機浴槽に水が無いことを確認して行なう

水位が低くある場合は、外扉シールを開放したとき水漏れが発生する恐れがあります。

待機浴槽へ送湯する前に、使用者の足等が目皿の上にない事を確認

送湯は、待機浴槽底面の目皿より給排水されます。使用者の表情や身体状況に異変があった場合は、すみやかに操作を中止してください。

トレッドミル・噴流操作

警告

歩行運動中は、絶えず使用者の安全に注意
使用者の状態を常に看視して、いつでも停止スイッチを押せるようにしてください。転倒して水没する危険や、トレッドミルと周囲のカバーとの隙間に足の指を挟んで、けがをする恐れがあります。

噴流の操作は使用者の状態を常に確認しながら行う
使用者の表情や身体状況に異変があった場合は、すみやかに操作を中止してください。

注意

歩行運動終了後はトレッドミル電源（切）スイッチを押して電源を切る
事故を防止します。

水位が下がった場合には必ず噴流（切）スイッチを押して停止する
水深が下がっても、噴流は自動的に停止しません。

ご使用後

注意

フィルター交換のときは、必ず浴槽の電源を切る
感電する恐れがあります。また、浴槽内の湯も排水してください。

アダプターは、位置と方向を正しく組み込む
ろ過されません。間違えないよう注意してください。

操作部や駆動部にシャワー等で水をかけない
水がかかると電気系統の故障の原因になります。

マットの損傷に注意
古くなって破れたり、マット止めピンがマットから浮き出してきたら、新しいものと交換してください。マット止めピンの浮き出した部分で、使用者がけがをする恐れがあります。

使用後は、必ず排水をする
扉及びシールゴムが変形し、機械の故障の原因となる恐れがあります。使用後は浴槽内の水を排水し、内外扉シールを開放してください。

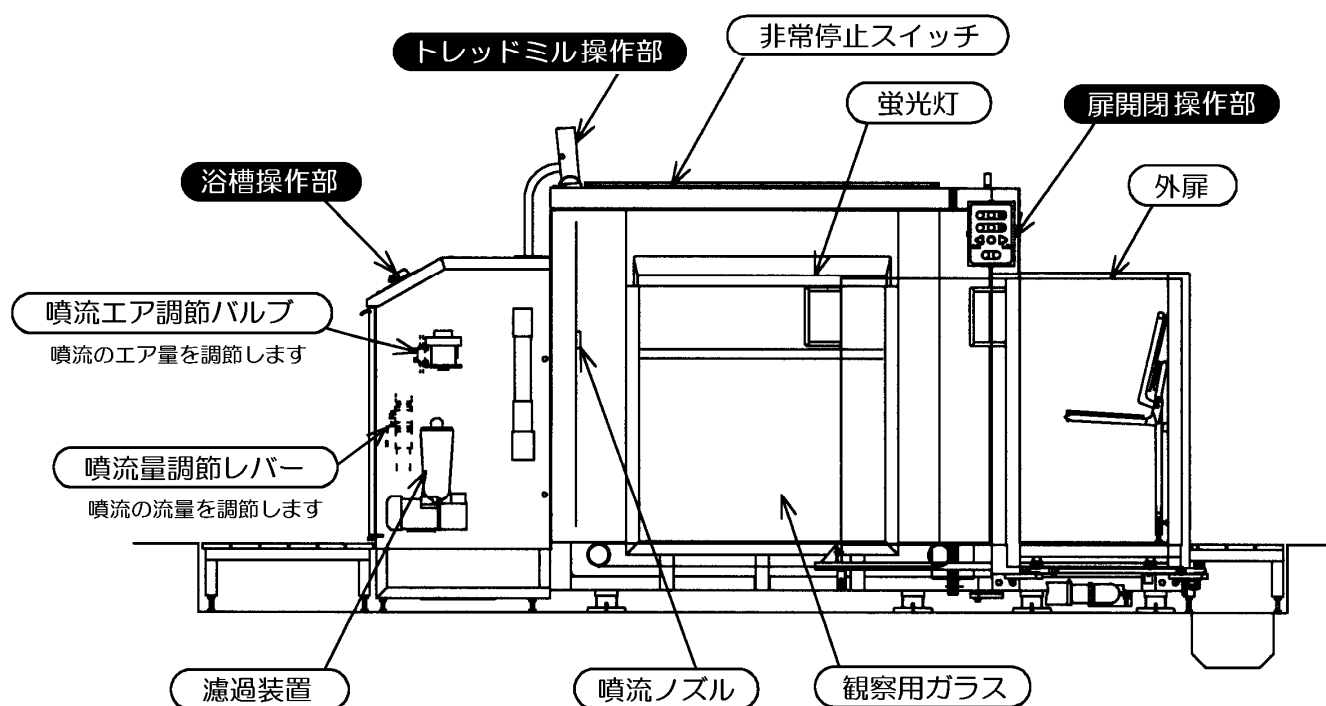
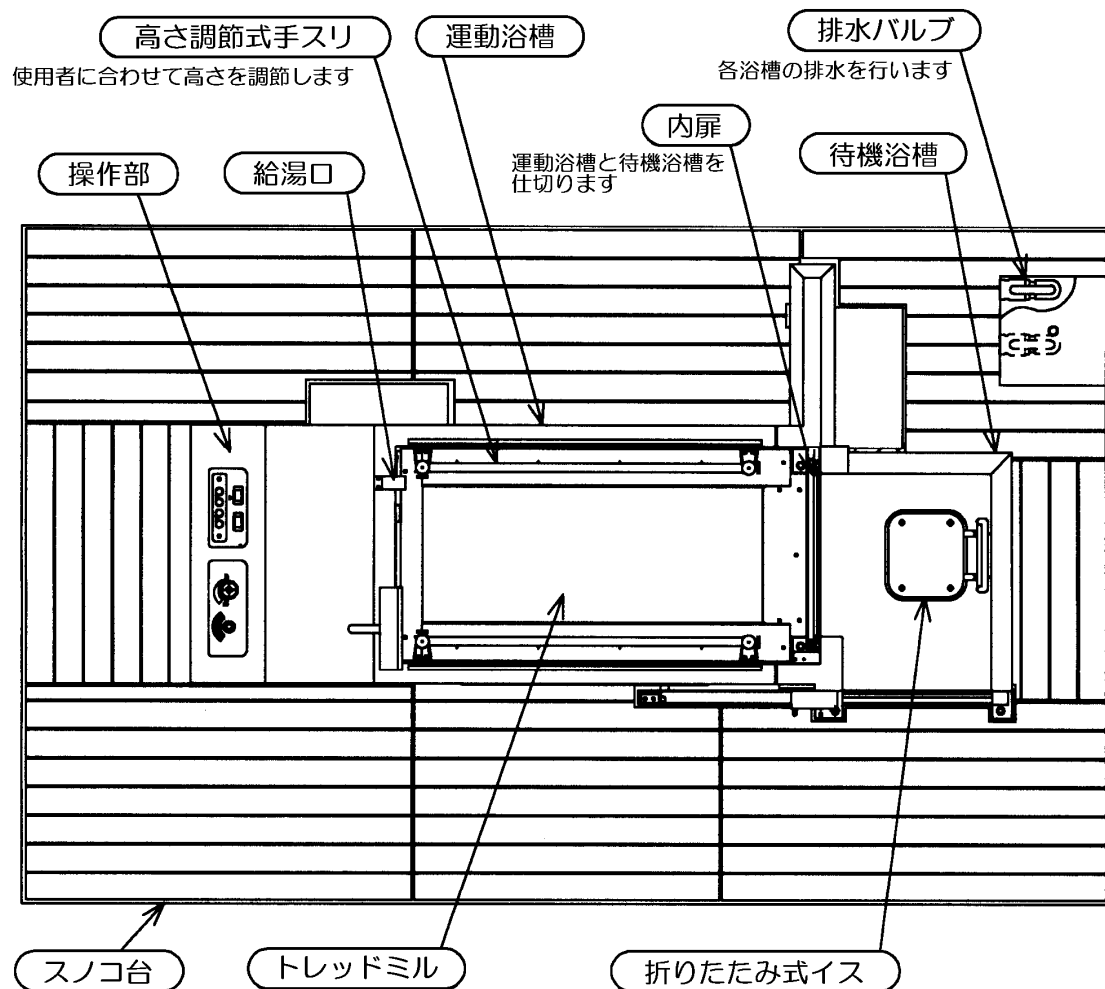
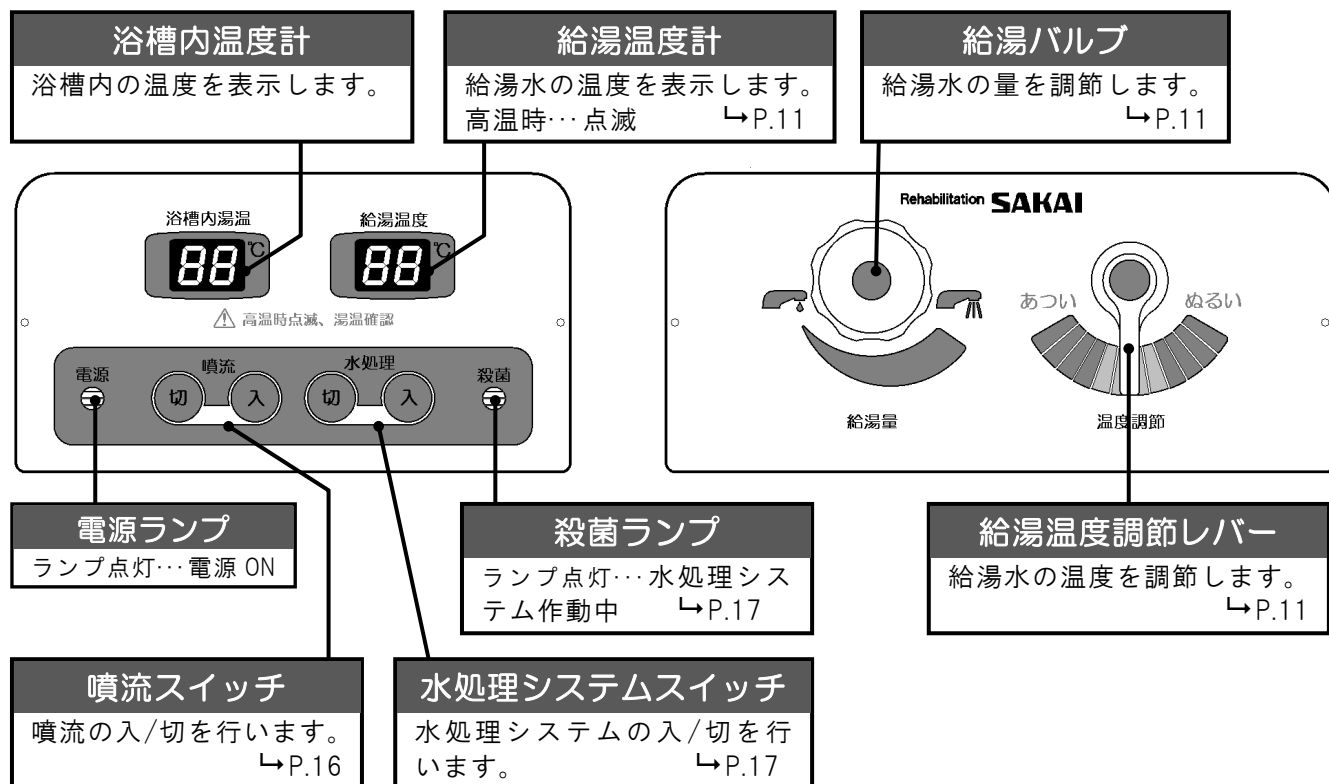
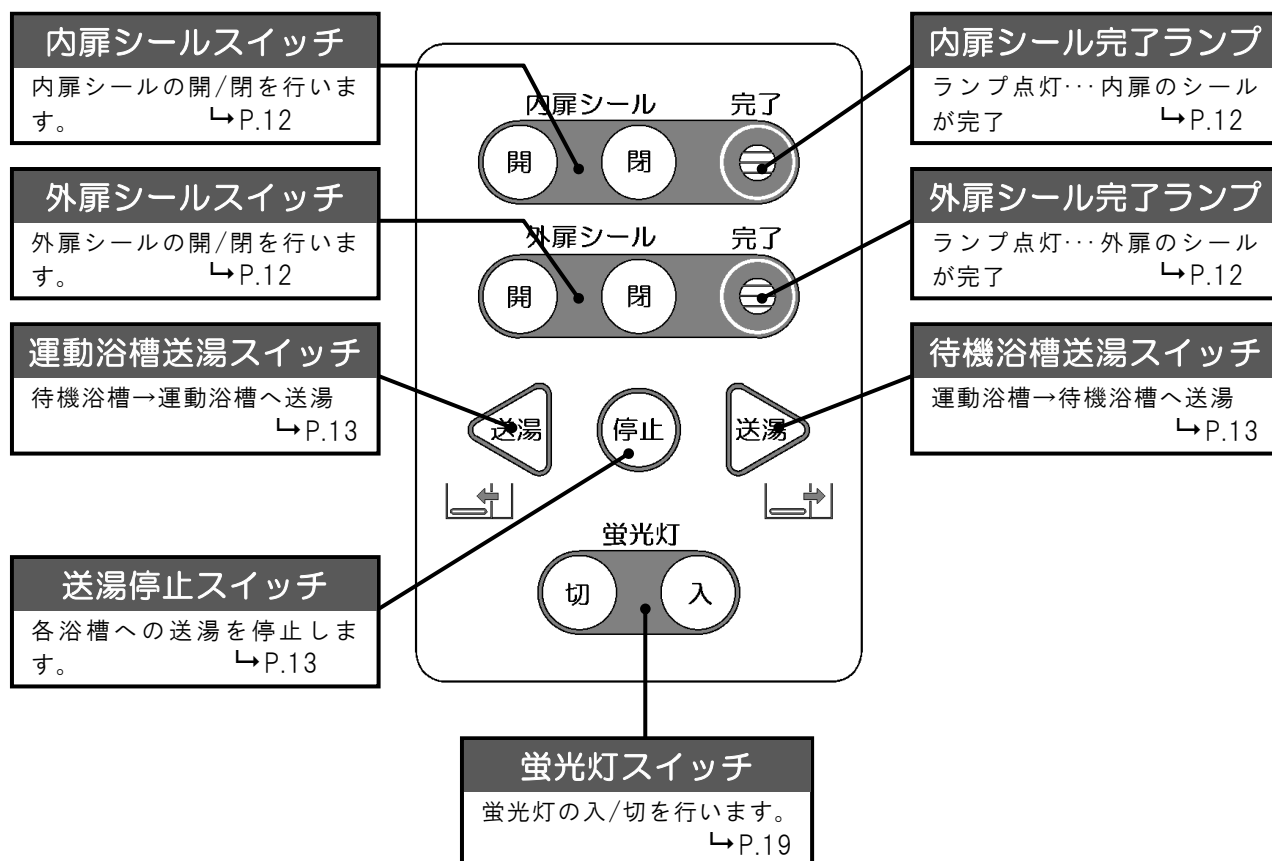
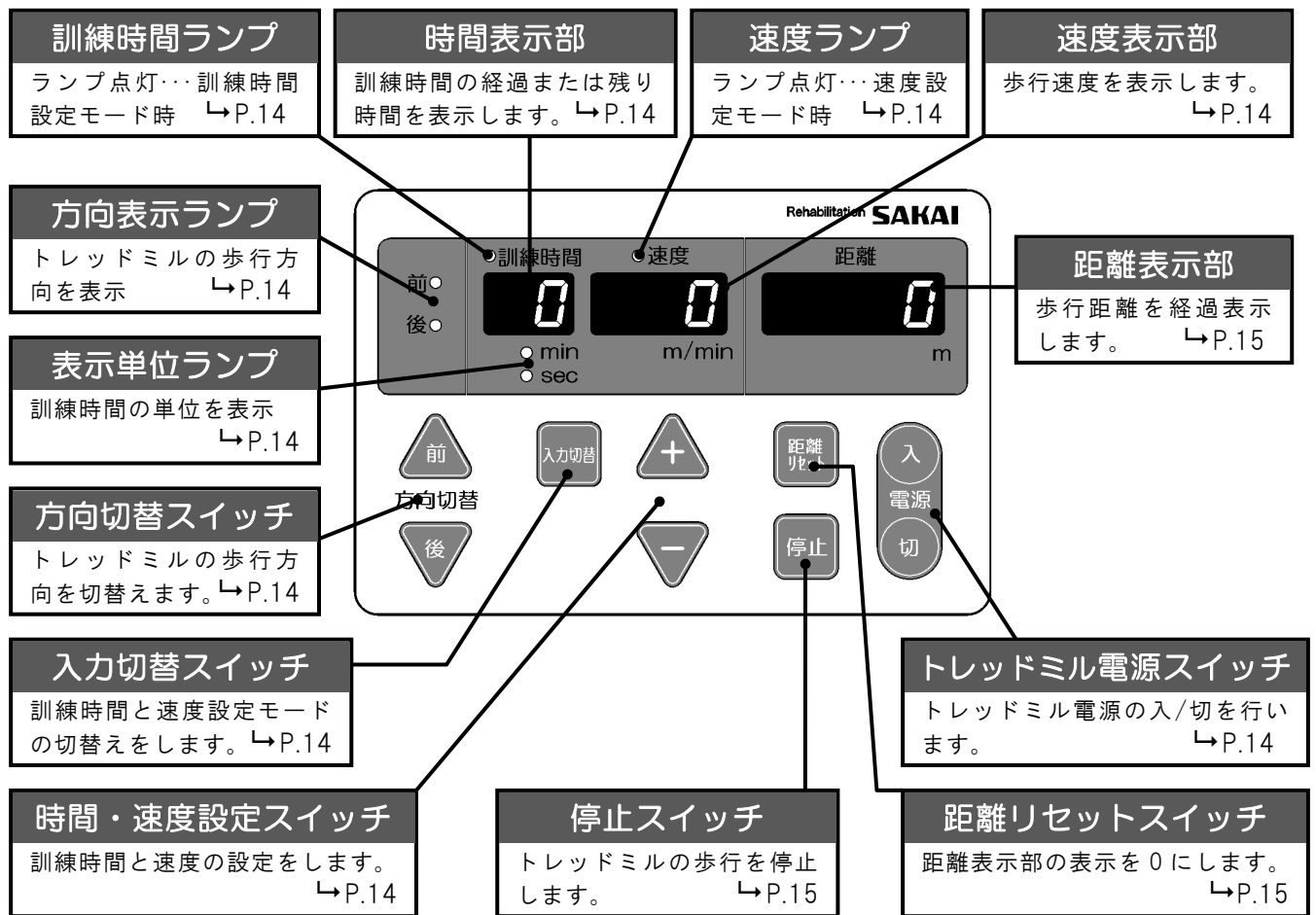
使用後は、必ず内・外扉シールを開放し、完了ランプが消灯していることを確認
長時間放置しますと、シールが圧縮されたままの状態となり、シール性が低下し、水漏れの原因となります。

使用後は、必ず電源を切る
トレッドミルおよび本体の電源を切ってください。事故を防止します。

使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

納入時のビニールカバーは、破棄する
製品にかけて使用すると、錆などが発生しやすくなるので、絶対に使用しないでください。

各部の名称と働き

高さ調節式手スリ
使用者に合わせて高さを調節します
運動浴槽
排水バルブ
各浴槽の排水を行います
内扉
運動浴槽と待機浴槽を仕切ります
待機浴槽
操作部
給湯口
スノコ台
トレッドミル
折りたたみ式イス
トレッドミル操作部
非常停止スイッチ
蛍光灯
扉開閉操作部
浴槽操作部
外扉
噴流エア調節バルブ
噴流のエア量を調節します
噴流量調節レバー
噴流の流量を調節します
濾過装置
噴流ノズル
観察用ガラス

浴槽操作部

扉開閉操作部

トレッドミル操作部

✸ 構 成

■ 運動浴槽部 ・・・・1式
- ① 運動浴槽本体 ・・・・1
- ② 高さ調節式手摺 ・・・・左右1対
- ③ トレッドミル ・・・・1式

■ 待機浴槽部 ・・・・1式
- ① 待機浴槽本体 ・・・・1
- ② 折りたたみ式椅子 ・・・・1

■ 操作部 ・・・・1式
- ① 本体キャビネット ・・・・1
  （噴流機構、水処理システム含む）
- ② 操作盤 ・・・・1

■ スノコ板 ・・・・1式
（8分割構成）

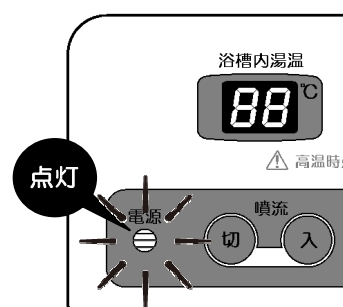
ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.23 の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

電源

- 本製品は設置時に電源は接続されています。使用前に必ず水治療室の本製品操作用電源のブレーカーが切れていないか点検してください。本製品の電源を入れ電源ランプが点灯することを確認してください。
- 電源には、必ず漏電遮断機を接続してください。

給湯水圧

本装置に供給される湯及び水の適正使用圧力は 120～150 ㎪(約 1.2～1.5 kg f/㎠)です。圧力比は変動を含んでも最大 2：1 です。適正範囲内でご使用ください。

警告　適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理

適正範囲を外れると、給湯の湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。

薬液及び銀イオン殺菌装置

薬液は、浴槽・配管等に悪影響を及ぼしたり、銀イオンと反応を起し、黒ズミを促進させたりする恐れがありますので、使用しないでください。

本製品には、銀イオン殺菌装置が内蔵されています。

銀イオン殺菌装置を使用すれば薬液を使用しなくても、十分な殺菌効果が得られます。銀イオン殺菌装置を使用した後は、浴槽及びタンク内面を柔らかいスポンジ等を用いて、きれいに洗浄してください。内及び外扉は透明アクリルのため、特に注意して清掃してください。

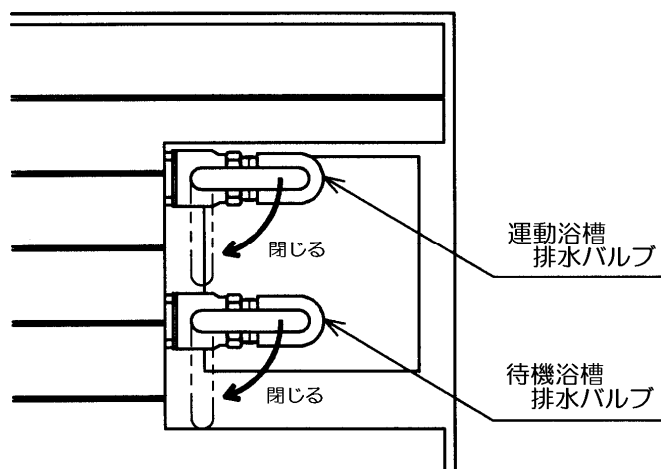
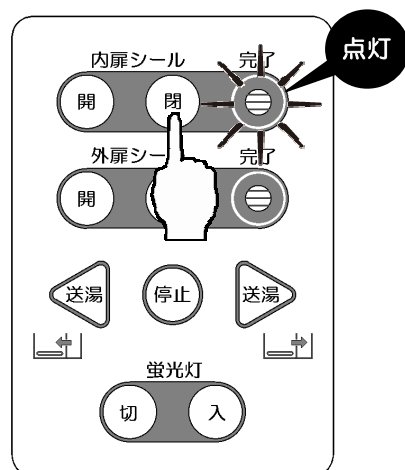
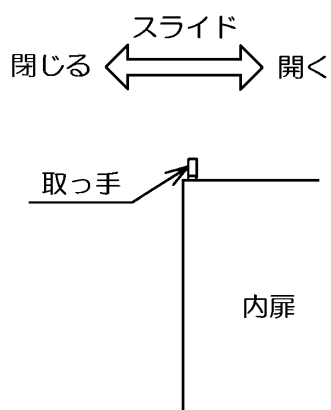
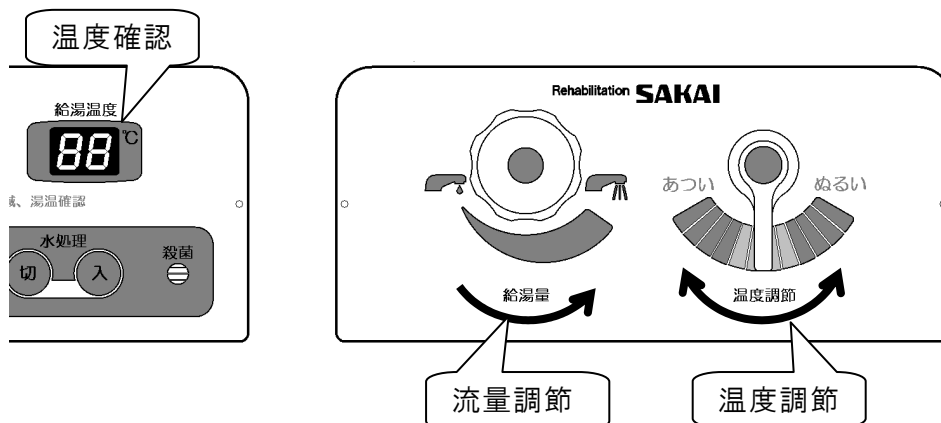
●ご使用中に…

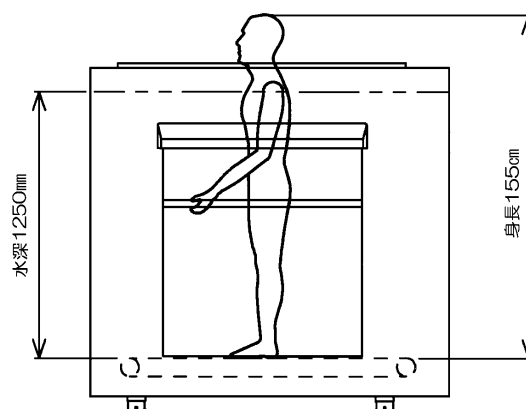
万一故障が発生したら、ただちに使用者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

操作方法

給湯操作

運動浴槽への給湯は、内扉を閉めた状態（内扉シールが閉鎖された状態）で行います。運動開始前には適温水が運動浴槽に必要です。

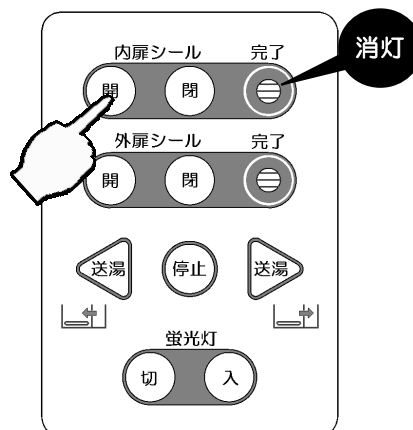
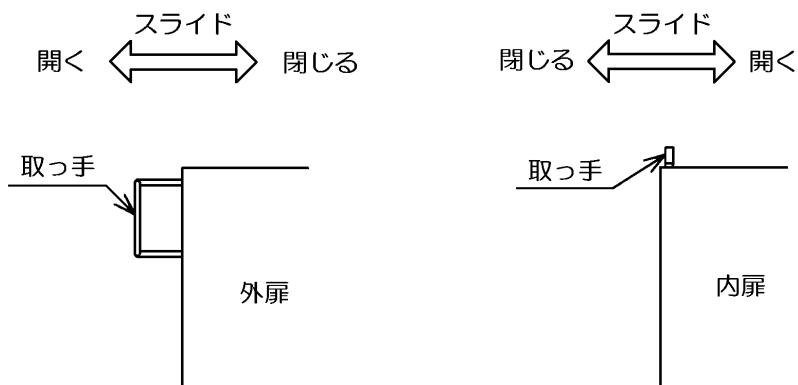
1　給湯を始める前に、待機浴槽裏側スノコ台の下にある運動浴槽、待機浴槽の排水バルブがしっかり閉じていることを確認します。

2　内扉をスライドして閉め、内扉シール 閉 スイッチを押して扉をシールします。完了ランプの点灯を確認してください。

3　操作部の給湯バルブを開くと、給湯口から運動浴槽へ給湯されます。給湯温度計を見ながら、温度調節レバーを動かして、給湯温度を設定します。(温度が 44℃以上の場合、デジタル表示が点滅をして温度が高いことを知らせます。)

4　使用者に適した水位になったら、給湯バルブを閉めて、給湯を止めます。
水深は、200～1250 ㎜です。

 オーバーフローまで給湯すると、水面はトレッドミルベルト面より約1250㎜の高さです。また、満水になっても給湯は自動停止しません。

⚠ **警告**　**運動開始前に運動浴槽内の湯温が適温であることを温度計と手で必ず確認する**

高温のままだと、使用者にやけどを負わせる危険性があります。

⚠ **注意**
- **扉をスライドする前にシール部に傷や異物の付着がないか必ず確認**
- **扉のスライドはゆっくり丁寧に行なう**
- **浴槽内に長い間、水を張ったままにしない**

扉（内外）の開閉操作

1　内扉を開ける場合は、の内扉シール ㋐開スイッチ、外扉を開ける場合は外扉シール ㋐開スイッチを押すとシールが解除され、完了ランプが消灯します。

2　完了ランプの消灯を確認し、扉の取っ手を握り、扉をスライドさせて開けます。

3　内扉、外扉を閉める場合は、手で扉が動かなくなるまでスライドして、閉めてください。

4　内扉シール ㋐閉スイッチ、または外扉シール ㋐閉スイッチを押して扉をシールします。

その後、完了ランプが点灯することを必ず確認してください。

警告　扉開閉操作の際は、扉付近に人や物が存在しないことを確認

特に使用者の足先や手先の状態に注意して、挟み込み等の事故が発生しないように操作してください。

注意　・扉のスライドは完了ランプの消灯を確認してから行う

・扉のスライドはゆっくり丁寧に行なう

・完了ランプの確認

①外扉と内扉を同時に操作することはできません。必ず１つの完了ランプが点灯または消灯することを確認してから次の操作を行ってください。

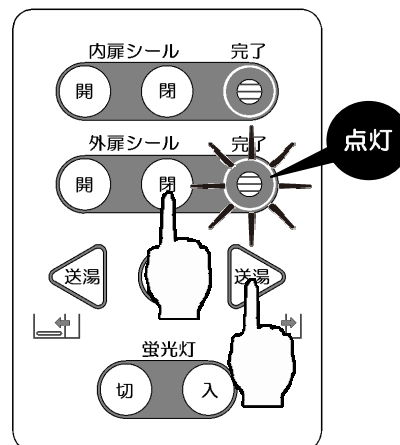
②扉が完全に閉められていないと完了ランプが点灯せず、運動浴槽から待機浴槽への送湯が行なわれません。

・外扉シール開放操作は、待機浴槽に水が無いことを確認して行なう

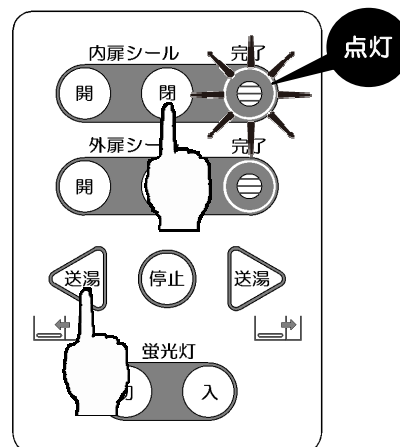
運動浴槽 ⇔ 待機浴槽の送湯

1　**運動浴槽 ⇒ 待機浴槽**

待機浴槽の外扉を閉じて外扉シール閉スイッチを押して扉をシールします。外扉シール完了ランプの点灯を確認します。

右側の送湯スイッチを押すと、運動浴槽から待機浴槽への送湯が開始され、待機浴槽底面の目皿から給湯されます。

2　**待機浴槽 ⇒ 運動浴槽**

待機浴槽の内扉を閉じて内扉シール閉スイッチを押して扉をシールします。内扉シール完了ランプの点灯を確認します。

左側の送湯スイッチを押すと、待機浴槽から運動浴槽への送湯が開始され、待機浴槽底面の目皿から吸込まれた湯が運動浴槽へ送られます。

3　**送湯の停止**

送湯の停止は停止スイッチを押します。使用者に適した水位で送湯を停止してください。停止スイッチを押さない場合は、待機浴槽内の湯の全てを運動浴槽内に送湯したときに、送湯が自動停止します。それ以外は、自動停止をしません。目で確認しながら必ず停止スイッチを押してください。

警告　**運動浴槽からの送湯前に運動浴槽内の湯温が適温であることを温度計と手で必ず確認**

高温のままだと、使用者にやけどを負わせる危険性があります。

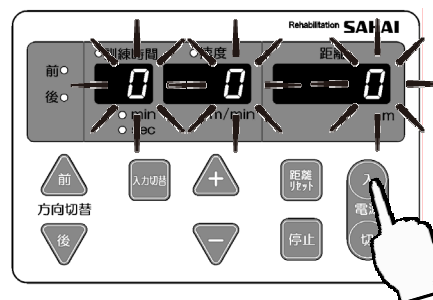
送湯時、使用者の身体の保持をしっかり行ない、運動浴槽では、両側の手すりを握らせる

待機浴槽では、折りたたみ式椅子に座らせるか、浴槽の縁につかまらせてください。水流や浮力等により、使用者が転倒し水没する危険があります。使用者の状態を常に確認し、表情や身体状況に異変があった場合は、すみやかに操作を中止してください。

注意　**待機浴槽へ送湯する前に、使用者の足等が目皿の上にない事を確認**

トレッドミルの操作

1　電源

　トレッドミル電源 入 スイッチを押すと、各ランプ，表示部のＬＥＤが点灯します。

2　進行方向の設定

　トレッドミル方向切替スイッチを押すとベルトの進行方向を切り替えることができます。方向切替スイッチは速度表示が 0m/min のときのみ（トレッドミルベルト停止時）操作可能です。

　方向切替 前 スイッチを押すと、使用者がトレッドミル操作部に向かって前進する方向にベルトが動き、方向表示ランプ前が点灯します。

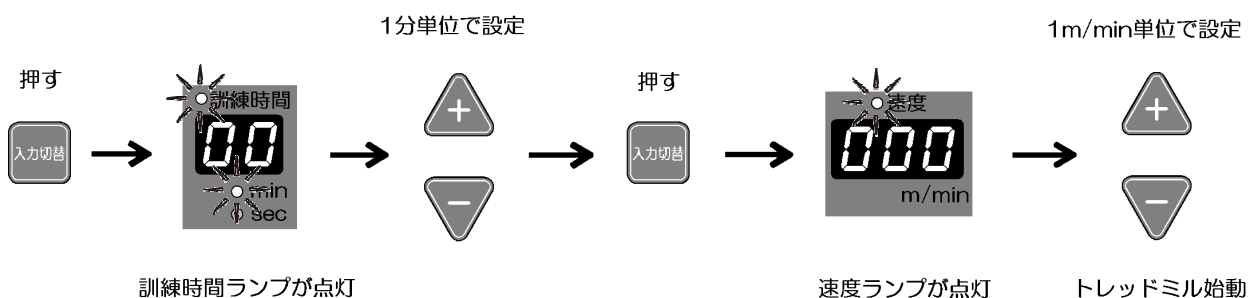
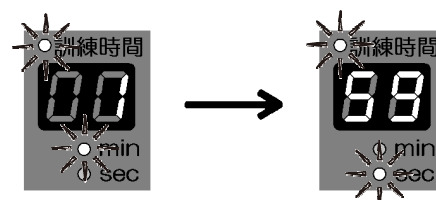
　方向切替 後 スイッチを押した場合には逆方向にベルトが動き、方向表示ランプ後が点灯します。

3　訓練時間・速度の設定

　入力切替スイッチを押すと、訓練時間・速度の入力項目の切り替えができ、訓練時間ランプ または 速度ランプが点灯します。

　時間・速度設定スイッチ ＋ － を押して、訓練時間および速度を設定します。速度を入力すると、トレッドミルは動き出します。

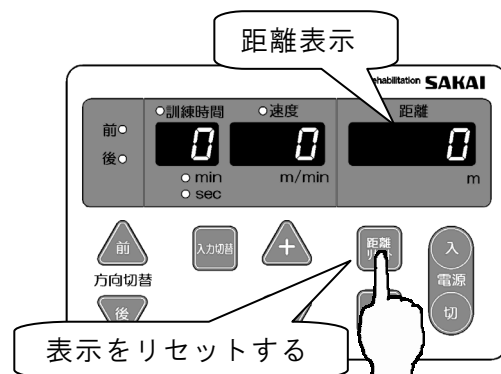
1分単位で設定　　1m/min単位で設定

訓練時間ランプが点灯　　速度ランプが点灯　　トレッドミル始動

　時間表示は、減算表示し１分未満になると単位が min→sec に変わります。

　訓練時間の設定を行なわないで、速度を入力すると、トレッドミルは動き出だし、時間表示部には、運動開始からの積算表示となります。

ご注意　運動浴槽に水位が 200 ㎜程度入っていないと、速度を入力しても速度表示部の数字が点滅し、トレッドミルが動きません。

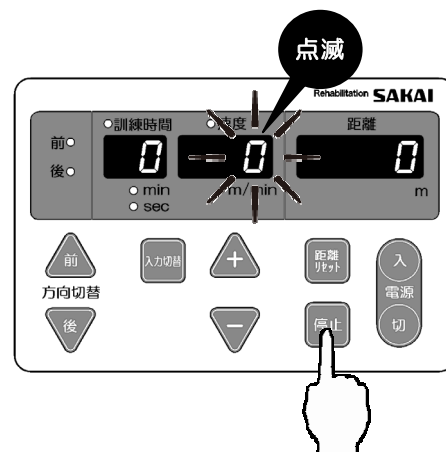
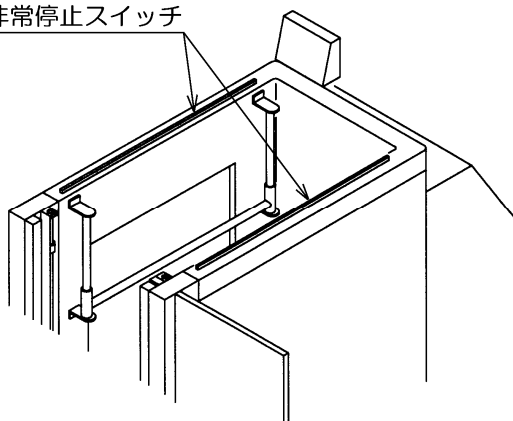
4　距離表示

　トレッドミルが動き出すと、歩行距離が表示されます。

　距離を 0m に戻す場合は、距離リセットスイッチを押します。

5　トレッドミルの停止

　停止スイッチを押すと、トレッドミルは停止します。

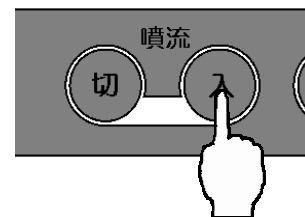
　非常時の場合は非常停止スイッチを押して、トレッドミルを停止してください。

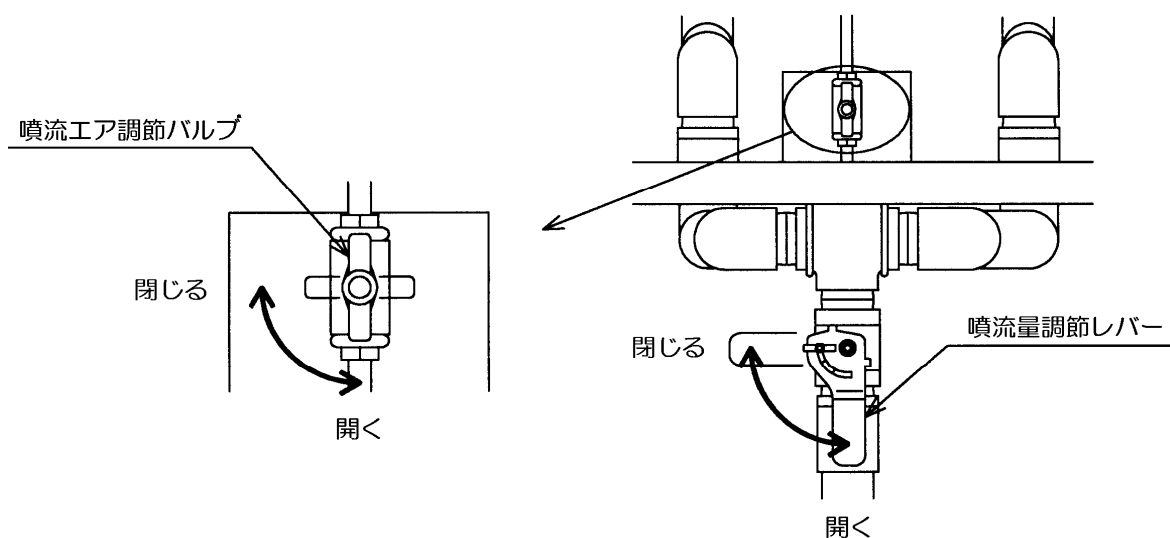
　停止スイッチ及び非常停止スイッチを押すと、速度表示部の数字が 0 で点滅します。

警告　歩行運動中は、絶えず使用者の安全に注意

使用者の状態を常に看視して、いつでも停止スイッチを押せるようにしてください。転倒して水没する危険や、トレッドミルと周囲のカバーとの隙間に足の指を挟んで、けがをする恐れがあります。

注意　歩行運動終了後は
トレッドミル電源 切 スイッチを
押して電源を切る

噴流の操作

1　噴流（入）スイッチを押すと、運動浴槽の 2 か所のノズルから噴流が出ます。

参考　送湯中や運動浴槽内の水深が約 850 ㎜以下の場合には、噴流は作動しません。

2　噴流のエア量調節は、操作部のステンレス扉を開け、バルブにより調節します。

3　噴流の流量調節は、エア調節バルブの下にあるバルブのレバーで調節します。始めは閉じておいて使用者に適した量に徐々に調節してください。

4　噴流を止める場合は、噴流（切）スイッチを押します。噴流調節レバーでは、行わないでください。

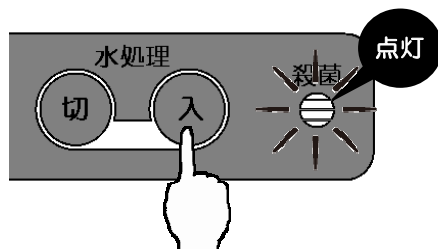
警告　噴流の操作は使用者の状態を常に確認しながら行う

使用者の表情や身体状況に異変があった場合は、すみやかに操作を中止してください。

注意　水位が下がった場合には必ず噴流（切）スイッチを押して停止する

水深が下がっても、噴流は自動的に停止しません。

水処理システムの操作

1　水処理システム 入 スイッチを押すと、殺菌ランプが点灯します。
運動浴槽内から温水を吸い込み、循環ポンプによりろ過装置・銀イオン殺菌装置・保温装置を通り、運動浴槽へ吐出します。

2　水処理システムを止める場合は、水処理システム 切 スイッチを押してください。

- 水処理システムは、運動中でも作動可能です。運動浴槽の水位が、低い場合(約 200 ㎜)は作動しません。

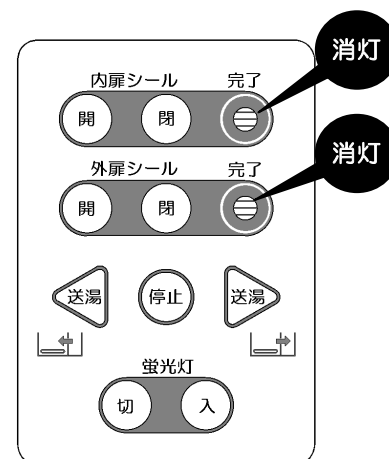
- 殺菌ランプが点滅したときは、銀板交換時期です。銀板を交換してください。
（交換の際は、当社サービスマンにご用命ください。）

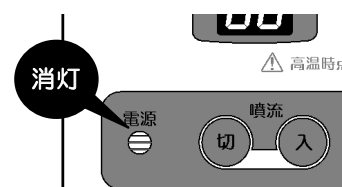
- 水処理システムが働いているとき、保温装置も作動しています。

注意　薬液は銀イオンと反応し、浴槽・アクリル扉・配管等に悪影響を及ぼす恐れがありますので、使用しないでください。

使用後の操作

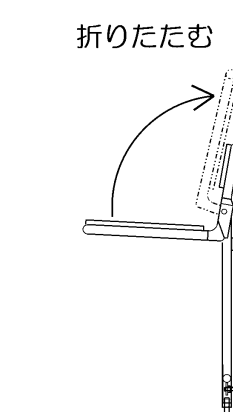
- 運動終了後、待機浴槽裏側スノコ台の下にある運動浴槽、待機浴槽の排水バルブを開けて排水します。

- 排水後は必ず内扉・外扉シール㊌スイッチを押して、内扉・外扉シール完了ランプが消灯していることを確認してください。内・外扉シールを作動させたまま長時間放置しますと、シールが圧縮されたままの状態となり、シール性が低下し、水漏れの原因となります。

- 浴室の窓を開けるなど十分換気して、室内の湿度を下げてください。電気部品等の故障の発生を低下させる効果があります。

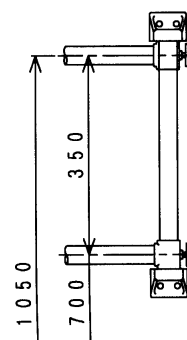
- 元電源を切って、浴槽操作部の電源ランプが消灯していることを確認してください。

上手な使い方

◆ 待機用椅子

　待機浴槽には折りたたみ式の椅子が付いています。立位が十分に取れない使用者が椅子に座ることで運動浴槽に移る準備ができます。また、水中で浮力及び抵抗を利用した立ち上がり運動としての利用も可能です。

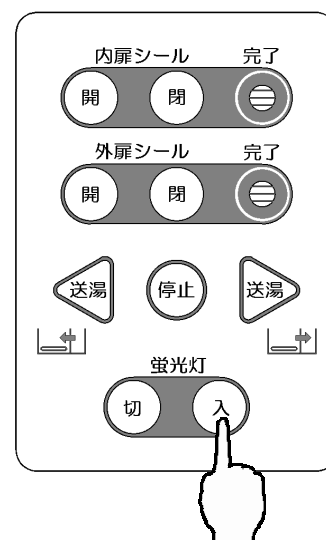
　使用しない場合は、折りたたんでおくことができます。

◆ 高さ調節式手すり

　運動浴槽には高さ調節式の手すりが左右に付いています。待機浴槽からの移動や、歩行運動にご利用ください。

　使用者に合わせ、トレッドミルベルト面から高さ700㎜～1050㎜までを自由に設定することができます。

◆ 運動浴正面のスケール，蛍光灯，内・外扉

　扉開閉操作部の蛍光灯 (入) スイッチを押すと蛍光灯が点灯し、観察用ガラス面を照らします。

　内・外扉共に透明のアクリル樹脂板を使用していますので、歩行運動中や待機中の使用者の状況・安全に注意し、確認することができます。

　運動浴正面のスケール（目盛）は、水位の設定等にご利用ください。

お手入れの仕方

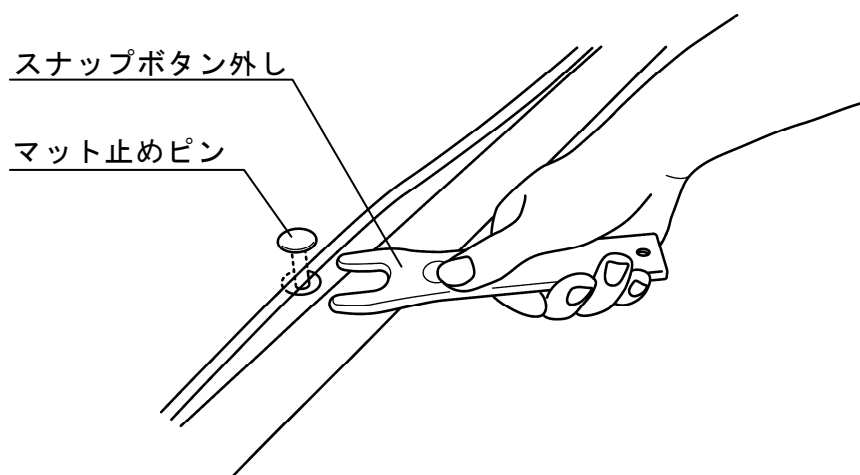
✹清 掃

■ 浴槽は、ステンレス製です。水滴などをそのまま放置しますと、水アカが残って汚くなります。乾いた布で水滴をきれいに拭き取ってください。

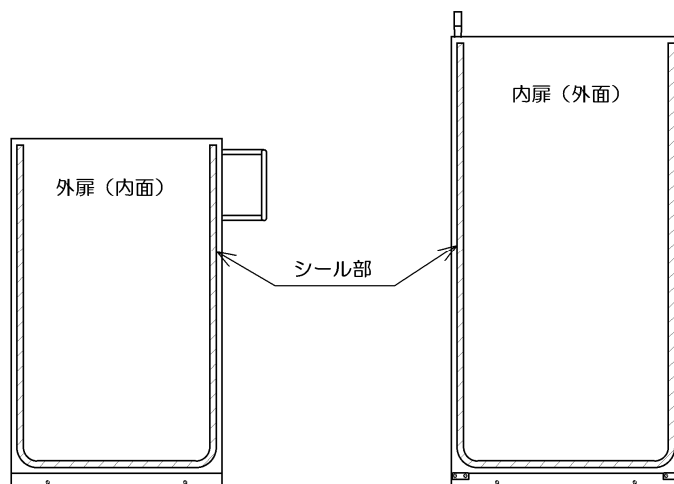
■ タワシ等でこすると傷がつきますので、スポンジ等の柔らかいもので洗浄してください。特に内・外扉はアクリル樹脂です。傷が付くと透明度がなくなるので、十分気を付けてください。

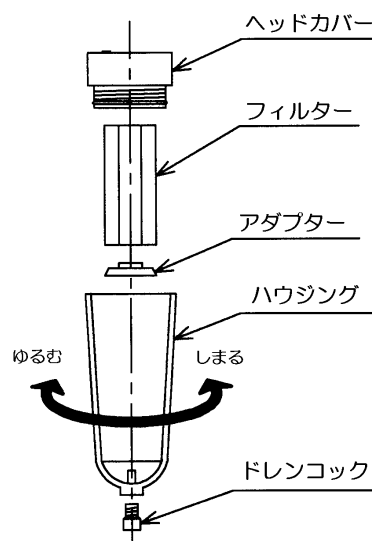
■ スノコ部は、中性洗剤を薄めた液に浸した柔らかい布で拭き、その後、水拭きしてください。

 注意　清掃の際、電源部や操作スイッチ等に水をかけない

■ 椅子のマットを外す場合には、マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込むとマット止めピンが外れます。（下図参照）
マットを取り付ける場合には,マット止めの穴にピンを差し込んで押してください。

 注意　マットの損傷に注意

✹ グリースアップ

内外扉シール表面には、刷毛等でシリコングリス（白色：付属品）を塗布してください。また、ゴミが付着している場合は、除去してから塗布してください。

✹ フィルター交換

ろ過装置のフィルター(150μ2 本)の交換は3か月ごとが目安です。貯湯タンクや運動浴槽内に湯水が無いことを確認してから、浴槽の元電源を OFF にして交換作業を行ってください。

⚠注意　・フィルター交換のときは､必ず浴槽の電源を切る
・アダプターは、位置と方向を正しく組み込む

✹ 銀板の交換

殺菌ランプが点滅したら交換してください。銀板の寿命は使用頻度により変わります。

このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
電源ランプがつかない。	電源が入っていない。	電源を入れてください。
	電気回路のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください。
送湯できない。	内・外扉がシールされていない。	内・外扉シール完了ランプの点灯を確認してください。
	噴流が出ている。	噴流のスイッチをOFFにしてください。
	機械の故障	最寄りの営業所にご連絡ください。
送湯ポンプがいつまでも停止しない	電気系統の異常	最寄りの営業所にご連絡ください。
内・外扉シール完了ランプが点灯しない。	内・外扉が閉まっていない。	扉を閉めてください。
	機械の故障	最寄りの営業所にご連絡ください。
扉から水漏れがある。	各シール部に毛髪やゴミ等が挟み込まれている。	毛髪やゴミ等を、除去してください。
トレッドミルが動かない。 入力設定ができない。	入力・操作の誤り	“P.14 トレッドミルの操作”を確認してください。
	機械の故障	最寄りの営業所にご連絡ください。
トレッドミルが停止しない。 非常停止スイッチが作動しない。	機械の故障	最寄りの営業所にご連絡ください。
水処理システムが作動しない。	運動浴槽内の水位が足りない。	運動浴槽内に給湯してください。
	機械の故障	最寄りの営業所にご連絡ください。
噴流が出ない。	運動浴槽内の水位が足りない。	運動浴槽内に給湯してください。
	送湯作動中	送湯スイッチをOFFにしてください。
	機械の故障	最寄りの営業所にご連絡ください。

・その他、ご不明な点がございましたら最寄りの営業所にご相談ください。
・ご使用中、万一故障が発生したら、ただちに使用者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	カバーのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	浴槽内の汚れまたは、不要物	目視
	椅子のガタつき、取付ボルトの緩み、脱落	目視 また、スパナ等による確認
	給湯口からの湯の漏れ	目視
	マットの破れ及びマット止めピンのはずれ	目視 （ピンが穴から単に抜け出しているだけのときは押し込んでください）
	安全ベルトのほつれ、バックルの破損	目視
機能	給湯中の温度計の温度表示	手を給湯口にあてて湯が適温であることを確認し、表示と比較
	給湯ミキシングバルブの温度調整	高温側と低温側に回し温度表示が変化することを確認
	停止スイッチの作動	トレッドミルを動かし停止スイッチ及び非常停止スイッチで停止するか確認

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

● 保証書と保障期間

保証書はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。

保証期間につきましては、正常な状態でご使用いただきながら故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

● 修理を依頼される場合

■ 修理を依頼されるときは下記のことをお知らせください。

機種名　：　*HM-200*
お買い上げ年月：　　年　　月
故障状況(できるだけ詳細に)
住所，氏名，電話番号

■ メーカーより指示のあるとき以外は、決して開けたり分解しないでください。

● 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

● 消耗品と損耗品

■ **消耗品**（使用により、量などが減少していくもの）

蛍光灯 / 点灯管 / シリコングリス / 銀板 / フィルター(3か月毎交換)

補給は、お客様により実施願います。

■ **損耗品**（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が約２年のもの。
マット /

・正常な使用において、交換の目安が約３年のもの。
ミキシング / 止水栓パッキン

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

● 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕様

項目			仕様
外形寸法（Ｌ×Ｗ×Ｈ）			4000×2500×1782 ㎜（スノコ台含む）
浴槽内寸法（Ｌ×Ｗ×Ｈ）			800×1520×1250 ㎜（運動浴槽） 800×630×900 ㎜（待機浴槽）
水　深			約 200～1250 ㎜
質　量（本体）			約 1250 ㎏
湯　量（水深 1250 ㎜時）			約 1720ℓ
電　源			三相 200Ｖ　50/60 Hz　30Ａ　２本 単相 100Ｖ　50/60 Hz　15Ａ　１本
電源入力			200Ｖ：2500VA　3000VA 100Ｖ：50VA
運動浴槽	手すり		高さ調節式（床面より 700～1050 ㎜）
	観察窓		２面｛側面及び内扉｝（側面に蛍光灯付）
	トレッドミル	方　式	平ベルト（塩化ビニール製）
		歩行面	500×1250 ㎜
		速　度	0～8 ㎞/h（非常停止スイッチ付）前後両方向切替可
待機浴槽	内　扉		引き戸式、油圧シール
	外　扉		引き戸式、油圧シール
	椅　子		固定式折りたたみ椅子
操作部	噴　流		ノズル２か所
	水処理	濾　過	150μフィルター２本
		殺　菌	銀イオン殺菌
		保　温	4 ㎾プラグヒーター
	操作盤		回転式（トレッドミル用）
スノコ台			８台、ＰＳ発泡板
スノコ台質量			約 150 ㎏

注）都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。